

番号	7 - 28	申請者	看護師長 西山 慎吾
【審査申請課題】 A病院のアドバンス・ケア・プランニング推進に向けた看護師長の取り組みについての実態調査			
【審査課題の概要】 近年、医療の高度化・複雑化や患者の価値観の多様化に伴い、看護師による意思決定支援の重要性が急速に高まっている。また社会的背景として、診療報酬改定やアドバンス・ケア・プランニング（以下ACP）の普及により、増々意思決定支援における看護師の役割が重要とされている。わが国の医療現場における意思決定支援の様相は、インフォームドコンセントからはじまり、現在はACPを中心に組み込まれている。 田代らは、「ACPは『終末期のことに関する取り決め』に向け、患者の価値観の理解、チームアプローチ、コミュニケーション、退院支援などの一連のプロセスの中で統合し、患者・家族の意思決定支援に繰り返し継続的に取り組むもの」と示している。このように看護師の役割として、意思決定支援が求められ、その重要性は高まっている。 一方、看護師が行うACPの課題としては、ACPの必要性を認識しているにも関わらず、実践までには至っていない現状があることや、「患者本人の価値観」を汲み取り、実現に向けて働きかける看護実践を促進していくことが挙げられている。さらに看護実践を阻害する要因として、ACPに関する知識不足やACPを実践するためのコミュニケーション能力不足が示されている。そのような中で、ACPを推進していくためには、看護師への教育と看護実践の改善に向けてスタッフを主導できる立場にある看護師長の役割は重要である。ACPに関する先行研究において、看護師長のACP推進に関する研究は十分に報告されていない。 そこで、A病院の看護師長がACP推進に向けてどのような取り組みを行っているのか実態調査を行い、今後の看護師教育やACP体制整備への示唆を得ることを目的とした。			
審査結果	承認（令和7年11月5日）		